

(音楽) 授業シラバス

教科	科目	単位数	学科(コース)・学年
音楽専門	器楽(ピアノ専攻者)	2単位	芸術科(音楽) 第1学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	○ピアノ実技に関する基礎的な知識や技術を習得させ、音楽性豊かな表現能力を高める。		
教科書 副教材等	生徒の実態に応じたエチュード及び楽曲	授業形態	個別指導

2 学習計画

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考	評価方法
1	4	○調号4つ以内のスケール ①長音階	○調号4つ以内のスケール・アルペッジョを正確に弾く事ができる。 ○基礎的な奏法を身につける。		実技テスト(6月) ・スケール・アルペッジョ
	5	②和声的短音階			
1	7	○調号4つ以内のアルペッジョ 長音階と短音階	○各々の選択した楽曲を音楽性豊かに演奏することができる。		調号0~4 ・自由曲
	(13)	○任意のエチュード及び楽曲			
2	8	○任意の楽曲	○各自の習熟度に応じながら、バロック、古典、ロマン、近現代の4期を網羅したレパートリーを拡 ○各々の選択した楽曲を音楽性豊かに演奏することができる。		実技テスト(11月) ・自由曲
	5				
2	12				
	(15)				
3	1	○全調のスケール ①長音階	○全調のスケール・アルペッジョを正確に弾く事ができる。		実技テスト(2月) ・スケール・アルペッジョ
	5	②和声的短音階			
3	1	③旋律的短音階			調号0~7全調 ・自由曲
	5	○全調のアルペッジョ 長音階と短音階			
3	3		○各々の選択した楽曲の奏法を理解し 基礎的なテクニックを身につけ音楽性豊かに演奏することができる。		
	(9)	○任意の楽曲			

( 音楽 ) 授 業 シ ラ バ ス

教 科	科 目	単 位 数	学 科 ( コー ス ) ・ 学 年
音楽専門	器楽(管弦打楽器主専攻者)	2 単 位	芸術科(音楽) 第 1 学 年

1 学習の到達目標等

<b>学習の到達目標</b>	○ピアノ実技に関する基礎的な知識や技術を習得させ、音楽性豊かな表現能力を高める。		
<b>教科書副教材等</b>	生徒の実態に応じたエチュード及び楽曲	<b>授業形態</b>	個別指導

2 学習計画

学期	月	学習内容	学習のねらい	評価方法
1	4	○調号0～1のスケール ①長音階	○調号0～1のスケール・アルペッジョを正確に弾く事ができる。 ○基礎的な奏法を身につける。	実技テスト(6月) ・スケール・アルペッジョ 調号0～1
	5	②和声的短音階 ③旋律的短音階		
1	7	○調号0～1のアルペッジョ 長音階と短音階	○各々の選択した楽曲を音楽性豊かに演奏することができる。	・自由曲
	(13)	○任意のエチュード及び楽曲		
2	8	○調号1～2のスケール ①長音階	○調号1～2のスケール・アルペッジョを正確に弾く事ができる。	実技テスト(11月) ・スケール・アルペッジョ 調号1～2
	5	②和声的短音階 ③旋律的短音階		
2	1	○調号1～2のアルペッジョ	○各々の選択した楽曲を音楽性豊かに演奏することができる。	・自由曲
	2	○任意のエチュード及び楽曲		
3	1	○調号2～3のスケール ①長音階	○調号2～3のスケール・アルペッジョを正確に弾く事ができる。	実技テスト(2月) ・スケール・アルペッジョ 調号2～3
	5	②和声的短音階 ③旋律的短音階		
3	3	○調号2～3のアルペッジョ 長音階と短音階	○各々の選択した楽曲を音楽性豊かに演奏することができる。	・自由曲
	(7)	○任意のエチュード及び楽曲		

週数35×2単位 = 合計70時間

( 音楽 ) 授 業 シ ラ バ ス

教 科	科 目	単 位 数	学 科 ( コー ス ) ・ 学 年
音楽専門	器楽(管弦打楽器主専攻者)	2 単位	芸術科(音楽) 第 1 学年

1 学習の到達目標等

<b>学習の到達目標</b>	○それぞれ専攻する器楽実技に関する基礎的な知識や技術を習得させ、音楽性豊かな表現能力を高めることを目指す。		
<b>教科書 副教材等</b>	各専攻楽曲およびエチュード 他	<b>授業形態</b>	個別指導

2 学習計画

学期	月	学習内容	学習のねらい	評価方法
1	4 5 7 (13)	○任意のエチュード及び楽曲	○各々の選択した楽曲を音楽性豊かに演奏することができる。	実技テスト(6月) ・ 任意の楽曲 ・ スケール
	8 5 1 2 (15)	○任意のエチュード及び楽曲	○各自の習熟度に応じながら、バロック、古典、ロマン、近現代のレパートリーを拡げる。 ○各々の選択した楽曲を音楽性豊かに演奏することができる。	実技テスト(11月) ・ 任意の楽曲 ・ スケール
3	1 5 3 (7)	○任意のエチュード及び楽曲	○各々の選択した楽曲の奏法を理解し、基礎的なテクニックを身につけ、音楽性豊かに演奏することができる。	実技テスト(2月) ・ 任意の楽曲 ・ スケール

週数35 × 2単位 = 合計70時間

(音楽) 授業シラバス

教科	科目	単位数	学科(コース)・学年
音楽専門	器楽(声楽主専攻者)	2単位	芸術科(音楽) 第1学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	○ピアノ実技に関する基礎的な知識や技術を習得させ、音楽性豊かな表現能力を高める。		
教科書副教材等	生徒の実態に応じたエチュード及び楽曲	授業形態	個別指導

2 学習計画

学期	月 (週)	学習内容	学習のねらい	備考	評価方法
1	4 5 7 (13)	○調号0～1のスケール ①長音階 ②和声的短音階 ③旋律的短音階 ○調号0～1のアルペジオ 長音階と短音階 ○任意のエチュード及び楽曲	○調号0～1のスケール・アルペジオを正確に弾く事ができる。 ○基礎的な奏法を身につける。 ○各々の選択した楽曲を音楽性豊かに演奏することができる。		実技テスト(6月) ・スケール・アルペジオ 調号0～1 ・自由曲
2	8 5 12 (15)	○調号1～2のスケール ①長音階 ②和声的短音階 ③旋律的短音階 ○調号1～2のアルペジオ ○任意のエチュード及び楽曲	○調号1～2のスケール・アルペジオを正確に弾く事ができる。 ○各々の選択した楽曲を音楽性豊かに演奏することができる。		実技テスト(11月) ・スケール・アルペジオ 調号1～2 ・自由曲
3	1 5 3 (7)	○調号2～3のスケール ①長音階 ②和声的短音階 ③旋律的短音階 ○調号2～3のアルペジオ 長音階と短音階 ○任意のエチュード及び楽曲	○調号2～3のスケール・アルペジオを正確に弾く事ができる。 ○各々の選択した楽曲を音楽性豊かに演奏することができる。		実技テスト(2月) ・スケール・アルペジオ 調号2～3 ・自由曲